

★お宝鑑定 in 九戸城

九戸城の発掘調査では、城で使われていたと思われる遺物が出土しています。今回はその中の天目茶碗に注目してみましょう。

天目茶碗とは茶道具の抹茶碗の一種で、その昔中国浙江省の天目山の禅寺へ修行に行った僧侶が、寺で使っていた茶碗を持ち帰ったことが由来で天目茶碗と呼ばれています。

ここで注意してほしいのは、「天目山で作られていたため」ではなく、「天目山から持ち帰ったため」にこの呼び名がついたということです。



九戸氏の勢力がしのばれる逸品です

戦国時代に武将の間で茶の湯が大流行し、かの有名な武将織田信長は、家臣が手柄をたてると褒美として茶道具を下賜し、茶道具を権力の象徴としても扱うようになりました。

舶来の茶碗は、特に珍しく価値のあるものとして重宝されました。この九戸城の遺物のように、城跡から出土する陶磁器は、その当時の経済流通が読み取れると共に、その城主の経済力や格の高さを示す貴重な資料とされています。センターに展示している陶磁器片を見ただけでも、いかに九戸氏が強大な勢力を誇っていたかが伝わってきます。

ちなみに、センターにある天目茶碗、完璧な形で出土していたら、国宝級のものだったとか！
いい仕事してますねえ。

こみゅにTeaたいむ

19秋目

ワークライフバランスのすすめ

「ワークライフバランス」ってなんでしょう？簡単にいえば、「仕事と私生活がうまくかみあうこと」です。『私生活の充実により仕事がかみ進む』 → 『仕事がかみ進むことによって私生活も潤う』 → 『仕事と私生活の相乗効果が高められる』といった好循環がうまれます。

仕事に必要な広い視野や知識・人脈は仕事以外の場で身に付くことも多いと思います。仕事以外の場を大切にすることで、仕事にとっても有益な成果が得られます。家と職場の往復だけでは視野が狭くなってしまいます。

さらに個々の仕事がかみ進むと、短時間で成果をあげられるようになり、労働時間の短縮やコスト削減にもつながり、会社（経営者）にとってもいいことであることは言うまでもありません。

いま、わが国の状況はどうでしょうか。私生活を犠牲にして毎日残業、休日にも出勤、家族や友人、パートナーと一緒に過ごす十分な時間を取れないうえに、自分の時間もほとんどない。こんな人も多いのでは？
真の豊かな生活とは…？少し手を止めて考えてみま

せんか。ワークライフバランスを考えてみる機会として下記のフォーラムを開催します。

「にのへ男女共同参画フォーラム」

期日 1月18日(日)
場所 シビックセンター
内容 第1部 基調講演 (13:30～15:20)
講師 立教大学 教授 萩原なつ子氏
「ワーク・ライフ・バランスのすすめ—あなたらしく、私らしく生きるために—」(定員100人)
第2部 外国人との交流会 ちゃっとランド (15:30～17:00)
ゲストスピーカー 岩手県国際交流協会ブライアン・オルソン氏、タイトル:「第97回ちゃっとランド in 二戸～アメリカは働きやすい?アメリカのワークライフバランス」(定員30人)
主催 岩手県国際交流協会 ブライアンさんとおしゃべりしよう
※どなたでも参加できますが、定員になり次第締め切りとさせていただきます。市地域づくり推進課(内線652)まで早めに申し込みください。



この欄の問い合わせは、市地域づくり推進課(内線652)まで